

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正十年十月二十八日印刷納本(每月一回一日發行)

哲 學 研 究



第六卷 第十一册
第六十八號

大正十年十一月一日發行

文化價值體系問題(一)……………文學博士 米田庄太郎

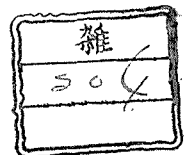
博愛主義と利己主義……………文學博士 高瀬武次郎

認識主觀の問題(承前)……………文學博士 田邊元

ミレエ……………文學士 植田壽藏

其他……………

京都帝國大學文學部
京都哲學會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得ルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

書記

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
書記	寶嚴方夫

彙報

哲學會例會

十月六日午後六時より學生集會場にて例會開催左の講演を行へ

り

一 燈園生活に就いて

文學士 森川禮二郎君

西田田邊の兩博士其他學生二十餘名參會、一燈園生活に關する種々なる質問意見の交換ありて十時閉會

倫理學會例會

十月十五日午後六時半より學生集會場にて左記の講演を開催せ

り

人格的價値と社會的價値との關係

早大教授 杉森孝次郎氏

藤井教授を始めとして多數學生參加せり

教育學研究會例會

十月二十日午後六時半より學生集會場にて中野京都府立第三中

學校長を聘して左の講話を聴聞せり

外遊雜感

寄贈書籍雜誌

哲學研究、丁西倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、

日華公論、教育研究、内外教育評論、學校教育、教育、教育學術界、教育時論、國際聯盟

世界大戰の教訓と現代思潮批判

東京 淺賀辰次郎著
寶文館

西洋宗教思想史(希臘の卷) 東京 岩波書店
文學博士 波多野精一著

前 號 目 次

カントに於ける認識客觀性の問題……………	文學士 岡野留次郎	
勞働の倫理……………	文學博士 藤井健治郎	
救濟の論理(完結)……………	文學士 久松眞一	
シェリングに於ける自由の哲學の發展……………	文學士 世良壽男	
新著紹介、其他……………		

會 告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内
京都哲學會
振替口座大阪參〇六六番

註 文 規 定

- ◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内
外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さる
べく候
- ◎振替貯金にて御送金(振替大阪三二九五番)内外出
株式會社宛に願上候
- ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに
付直に御拂込下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下
され度候

定 價

冊	數	定 價	郵 稅
一冊	冊	金四拾錢	壹錢
六冊	冊	金貳圓四拾錢	不申
十二冊	冊	金四圓八拾錢	不申

廣告料 一頁 金貳拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十年十月二十八日印刷納本
大正十年十一月一日發行

第六十八號 第六卷
第十二册

不許複製
禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内
京都哲學會

右代表者 寶 嚴 方 夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 內外出版株式會社

發 行 所

京都市下京區
西洞院七條下

內外出版株式會社
振替口座大阪三二九五番

發 賣 元

京都市下京區西洞院通七條下
東京市京橋區加賀町十番地
內外出版株式會社

賣 捌 所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
上田屋、(大阪) 盛文館、三文社
(神戸) 寶文館、川瀨書店
(京都) 共盛社

同志社
大學 教授 恒藤 恭 著

新 刊

批判的法律哲學の歴史

カントによつて確立された批判的精神を法律哲學の方面に繼承し發展しやうとする見地に立つ學者の中の代表的な人々が、法律哲學の主要問題——(例へば、法律の本質の問題、法律の理想の問題、法律の最高法則の問題、法律學の研究方法の問題など)——について抱いてゐる思想なり見解なりを、能ふかぎり忠實に且つ正確に理解しやうと努めた試みの結果の一部が、この書にをさめた諸論稿である。……(著者の序文より)

菊判 四百頁	總布 美裝	定價 金 參圓	送料 金 拾貳錢
--------	-------	---------	----------

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正十年十月二十八日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲學研究 第六十八號 定價金四拾錢(郵税金壹錢)

大阪穴口替振
番五五九二三

社會式株版出外内

區京下市都京
下條七院洞西

所行發